

おがかい

杉並区議会だより

ひとくちメモ

御 節(おせち)

正月・五節句などのごちそうに用いる特別な煮しめ料理。ゆでかちぐり・昆布まき・てりごまめ・れん根・ごぼう・にんじん・芋・くわいなどを甘く煮たもの。おせち料理。

NO.161

平成13年1月1日発行

発行/杉並区議会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎312-2111 編集/杉並区議会事務局

21世紀スタート おめでとうございます

21世紀プロジェクト記念事業「中学校対抗駅伝大会」



12 N12 17 æ @ S32 Z o @
- w Z , R w ' " s @
% B

あけましておめでとうございます。区民の皆様には、お健やかに2001年の新春をお迎えのことと存じます。今年も皆様にとりまして、安らぎと喜びあふれる日々でありますよう心からお祈り申し上げます。五二名の区議会議員全員が区民の皆様の代弁者としての責務を自覚し、最適な杉並のまちづくりのために全力で働いてまいりますことをお誓い申し上げます。

さて、いよいよ21世紀という新しい世紀を迎えました。希望に輝くすばらしい一〇〇年にしたいものです。20世紀は、飛躍的に科学技術が進歩した時代でした。その技術革新が人々の生活に限りない利便性をもたらしましたが、一方、世界各地で繰り返された戦争のための殺人兵器となって人々の暮らしを脅かしてきたことも事実です。21世紀はITを始め、さらに、技術革新の進展が予想されます。私たちは、こうした科学の発達を人々の生活の質を高め、うるおいとゆとりあるまちづくりを進めるために生かしていくとともに、世界平和実現のために役立てていかなければなりません。

昨年、地方自治制度にとって画期的な年となりました。地方分権推進一括法の成立に続き、23区においても、都区制度改革によって、昨年4月、都から清掃事業等の三三事業が区に移管され、区民に最も身近な基礎的自治体として出発しました。杉並区では新しい時代の区政運営の指針となる「21世紀ビジョン」を策定しました。さらに、具体的な行政計画を作成するとともに、それを支える行財政改革大綱「スマートすぎなみ計画」を進めようとしています。

私たちが区議会議員は、区の行政執行を厳しくチェックするだけでなく、豊かな区民生活の実現のための政策提言も積極的に行っていきたくと考えております。「車の両輪」に例えられる区と議会が各々の機能を十分に発揮し、そのプロセスを区民に明らかにしていくことが、真の地方自治の実現に欠かせません。そのためにも、これまで以上に議会の情報公開に努め、公正で透明な議会運営を心がけたいと考えております。

区民の皆様には、今後とも杉並区議会へのより一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



杉並区議会議長
河野庄次郎

新しい世紀を迎えて



第4回定例会

平成11年度各会計歳入歳出決算を認定

「外国人行政に関する意見書」「デポジット制度の早期法制化を求める意見書」を可決

12年第四回定例会は11月2日開会し、二十九日間の会期を終え、11月30日閉会しました。初日に五つの特別委員会の活動報告を行い、その後、2日6日、7日の三日間で一

一名の議員が区政一般について質問を行いました。8日には、条例案、平成11年度各会計歳入歳出決算などの議案を程、理事者の説明の後、決算を除いた議案は

杉並・生活者ネットワーク区議団

21世紀は「市民の世紀」

あけましておめでたございませう。皆様には21世紀最初の年をお健やかに過ごしていただくことをお祈り申し上げます。昨年4月、地方分権一括法が施行され分権改革が始まりました。しかし、真の分権は国から自治体への権限移譲はもとより、市民の自治が豊かに展開されてこそ実現するものです。その意味では、21世紀は「市民の世紀」といえられます。

地方自治体においても、これまでの行政主導型から市民・行政との協働「パートナーシップ」型へと、転換が求められてきています。昨年制定された杉並区基本構想（21世紀ビジョン）で、杉並区の新しい将来像を、区民が創る、「みどりの都市」杉並と描いているのも、時代の要請と言えます。

杉並・生活者ネットワークは、市民の自治・参画を進める活動を、行政との

16日から29日にかけては決算特別委員会を開き、決算審査を集中的に行いました。また、29日は、決算特別委員会を開き、官原委員長、大室副委員長による特別委員会で審査することに決定し、本会議で承認されました。9日からは、各常任・特別委員会を開き、条例案件、補正予算、区道認定、さらに陳情等の審査を行いました。

最終日30日は、各委員会に付託した議案の審査経過の報告後、全議案を原案と取り可決及び認定、意見書一件も原案と取り可決しました。続いて、教育委員会委員一件の人事説明後、付託を省略し、質疑応答、意見発表を行いました。その後、表決を行い、二件を原案通り同意しました。

杉並フロンティア

新世紀に区政の変革を望む

あけましておめでたございませう。新しい世紀の輝かしい新春を迎え、謹んで、ご祝詞を申し上げます。さて、単に世紀の変わり目というだけでなく、社会全体の転換期にさしかかっており、特にITの進展やグローバル化はこれまでのコミュニケーションや生活スタイルそのものに大きな影響をもたらします。そして、これらの変化は、私たちがこれまで経験した事のないス

ードで加速していきませんが、このような状況の中で自治体のあり方そのものが改めて問われてまいります。行革は徹しい財政という点だけでなく、区民ニーズの変化にあわせ、行政の役割や責任の範囲の再構築の上で不可欠です。また、無駄のない税金の使い方をすすめるためには、経営的な感覚を導入し、効率的な運営に努めながらも、サービスは低下させないでヘルプアップを図らな

ければなりません。改革をすすめるのは行政のみならず、私も議会もかりであります。どのような議論がなされ決定に至ったかを可能な限り情報公開をし、皆さんの声を集約してまいります。私たちが杉並フロンティアは、これらの方針を胸に刻み、区政刷新に努力してまいります。本年もよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

日本共産党杉並区議団

21世紀を「国民が主人公」の世紀に

あけましておめでたございませう。新しい21世紀を迎えました。みなさんと力を合わせて自民党政治を交え平和・民主主義・くらしを守る明るい展望のもとで21世紀にしたいと思えます。自公保連立政権は、医療・年金・福祉と、選挙制度を改悪し、核廃絶の世界の流れに背を向ける政治を進めています。石原都政も都政史上類例をみない、福祉と教育の切り捨てを進めています。

シルバークラス全面有料化、老人医療費助成の廃止、心障者・ひとり親家庭への福祉の後退、都立高校の統廃合を進め、一方で、ムダな公共事業は推進してまいります。この悪政に自公は全面的に、民主・社民も一部を除いて賛成、日本共産党は財政を不況きつぱり反対しています。地方政治の責務は、「住民の安全・福祉・健康を守る」ことです。しかし、山田区政は国・都政と同調し、「スマート

すぎなみ計画」で、行政の「企業化」を打ちだし、学校給食の民間委託、菅平学園の廃止、学校の統廃合、保育園の公設民営化、保育料の引き上げ、介護保険の保険料・利用料の減免拒否など、財政難を区民犠牲で切りゆけようとしています。今年は、日本共産党の躍進で悪政をストップし、国民が主人公の政治を実現する確かな年にならば幸いです。



年頭のごあいさつ

年頭にあたり、議会各会派のあいさつをお届けいたします。会派とは、同じ意見をもつ議員が集まって作るグループのことで、現在、杉並区議会には六つの会派があり、五二人の議員のうち四五人が所属しています。他には、都政を革新する会二人、杉並市民プロジェクト、無所属、平成維新、社会民主党、私たちの杉並をつくる会各一人の計七人が独自の主義主張にもとづいて活動しています。

自由民主党杉並区議団

よい施策を創り責任をもって実行

あけましておめでたございませう。日ごろより「自由民主党杉並区議団」に対し、力強いご支援をいただいた皆様心よりお礼申し上げます。昨年（2000年）は、新たな世紀を迎える準備と区政総点検の年でした。杉並区議会最大の会派である、自由民主党杉並区議団は、21世紀の杉並創りを目標に数多くの政策提言をし、実現することができました。今後も一層の努力をします。

現下の杉並区政は、財政危機に直面しております。財政再建と健全財政を確立することが最重要課題であります。わが会派は、次に掲げた施策を実現するため全力で取り組み、実行してまいります。行政改革を強く推進。特養ホーム、在宅介護支援センター等の駅前保育所の整備。

杉並区議会公明党

21世紀こそ「人間主義」の時代

新世紀の幕開け、区民の皆様、誠にありがとうございます。戦争を革命の世紀、といわれた20世紀から、平和の世紀、「生命の世紀」とすべく新たな価値観へと、大きく時代が変化するとき、わが公明党の更なる大きな力と活躍が求められています。自覚を新たに、生命、生活、生存を最大に尊重する。人間主義を貫き、新しい世紀の確かな進路を拓く決意でございます。

さて、区の財政難は否めませんが杉並区議会公明党として、本年度は安全、信頼、スピードを活動のテーマとし、区民の皆様にも活動を展開してまいります。具体的には、一、環境問題、防災対策に全力を尽くす。二、少子高齢化・福祉の問題をさらに充実。三、IT関連の事業の促進と区民と協働の区政を実現する。等々八名の議員が、全力を尽くします。また、本年度は、21世紀ビジョン実現

のための初年度であり、区は、基本計画実施計画、そして「行政改革大綱」スマート杉並計画を発表しました。わが会派はこれを高く評価し、プランを断行すべきと考えます。とともに議会側も、議員の定数削減を始め、議会の改革を視野に入れるべきと考えております。会派一同、区民の皆様のご健康とご繁栄をご祈念申し上げますとともに本年もなにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

民主党・区民連合

新しい世紀を改革の理念と行動で

あけましておめでたございませう。区民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日ごろより、区議会へ、民主党・区民連合に対し、ご支援のご協力をいただきました。ありがとうございます。私たちが民主党・区民連合は八名の議員で会派を構成しています。一人ひとりの個性を尊重し、同時に結束を固くしながら、少しでも住みやすい杉並区の実

現を目指し、活動を続けています。ご承知の通り「10年間、景気・経済も低迷が続く。区の財政も大変に厳しい状況です。私たちが21世紀を迎えるにあたり、時代情勢をしっかりと認識し、区長・山田宏さんと連携を強め、奮闘してまいります。以下、私たちの基本的な考えをお示しいたします。

聖域なき行政改革を徹底して進める。税金の使い道の優先順位を明確化する。情報公開を一層拡充し、インターネットリサイクルをはじめ、環境の視点から全事業を総点検する。まじめに働き、納税している区民のサイドに立つた政策を確立する。今年こそ良い年になるよう、皆様とともに歩んで参ります。

区議会の本会議や委員会は、定員の範囲以内でどなたでも傍聴できます。また、車いすでの傍聴や手話通訳による傍聴もできます。傍聴を希望の方は、希望日当日、区役所中棟3階の区議会事務局までお申し込みください（手話通訳希望の方は、希望日の4日前までにお申し込み下さい）。第1回定例会は、平成13年度の予算審議を中心に2月20日（火）から開会する予定です。日程等のお問い合わせは、2月13日以降に区議会事務局へ。

区議会を傍聴しましょう



議員名簿

議員番号	氏名	所属	常任特別委員会	住所	電話番号
1	くすやま美紀	共産	区民生活委員会	荻窪4-7-20	5397-2510
2	新城せつこ	革新	福祉委員会	和泉1-48-13	888-13
3	けしば誠一	革新	文教委員会	上高井戸1-32-40	888-13
4	河津利恵子	生ネ	福祉分権	阿佐谷北5-12-13	664-47
5	くれまつ幸代	生ネ	総財分権	荻窪2-22-2	366-46
6	小野清人	社民	区民分権	天沼2-16-11	477-5
7	富沢よし子	私私	建設分権	久我山5-10-10	982-3
8	星野ゆき路	杉フ	建設分権	萩窪4-10-13	982-3
9	畑部やすし	維新	文教分権	阿佐谷北6-23-5	474-0
10	太田哲二	無	建設分権	西荻南4-32-6	067-2
11	小倉順子	共産	総財分権	今川3-22-14	219-5
12	原口昭人	共産	建設分権	久我山5-10-10	807-1
13	としかきなおみ	杉フ	区民災害	宮前2-24-39	375-2
14	小川宗次郎	民主	建設災害	宮前2-24-39	375-2
15	田代さとし	民主	総財清掃	荻窪4-11-16	664-4
16	樋口馨子	生ネ	文教災害	西荻北4-15-11	102-5
17	横山えみ	公明	建設住宅	方南1-47-2	823-3
18	青木さちえ	公明	福祉清掃	高円寺北3-38-10	078-8
19	富本卓	自民	総財分権	アヒタシオン西荻30	410-3
20	関昌央	自民	建設道交	本天沼1-2-8	647-2
21	梅田ひさえ	自民	文教災害	和田1-31-6	555-5
22	大泉時男	自民	福祉清掃	永福1-31-19	342-8
23	藤原淳一	共産	福祉住宅	西荻南2-27-14	205-6
24	鈴木信男	共産	文教清掃	阿佐谷北4-8-6	802-9
25	佐々木浩	杉フ	総財住宅	天沼3-9-12	708-8
26	上野章子	杉フ	福祉道交	永福3-37-2	648-8
27	田中なおこ	民主	福祉道交	上荻1-7-3	777-0
28	押村貞子	民主	区民清掃	井草1-44-8	395-4
29	藤原一男	公明	文教道交	堀ノ内2-1-44	418-0
30	渡辺重明	公明	総財住宅	今川2-12-10	558-5
31	青木寛	公明	総財道交	阿佐谷北2-34-5	170-0
32	伊田としゆき	自民	福祉災害	上井草1-33-1	33-1
33	藤本卓三	自民	文教住宅	高円寺南3-51-4	112-6
34	河野庄次郎	自民	建設住宅	梅里1-3-16	422-3
35	斉藤常男	自民	総財清掃	高井戸東2-3-4	670-3
36	望月荘平	自民	福祉分権	荻窪1-37-17	830-1
37	山崎一彦	共産	区民分権	堀ノ内3-48-47	477-7
38	真々田邦義	共産	総財災害	高円寺南1-16-9	345-0
39	武田周吾	杉フ	文教清掃	高円寺南4-7-5	921-0
40	門脇文良	民主	総財道交	成田東5-3-27	807-2
41	木梨もりよし	民主	文教住宅	浜田山3-1-15	932-1
42	横倉たかお	民主	災害和泉	4-21-19	262-7
43	川上ひろまさ	民主	文教分権	南荻窪1-14-1	177-2
44	西村文孝	公明	建設清掃	久我山5-15-21	244-2
45	山川義三	公明	災害和泉	5-2-5	402
46	宮原良人	公明	福祉分権	和田3-22-4	088-1
47	小泉やすお	自民	道交南荻窪	1-40-15	677-8
48	本橋昭治	自民	道交分権	下井草3-39-26	008-1
49	大室義郎	自民	道交分権	方南1-53-3	281-1
50	曾山繁	自民	住宅	久我山1-6-2	765-1
51	吉田武	自民	災害	高円寺北4-20-13	270-3
52	今井讓	自民	建設清掃	高井戸東2-3-4	827-2

議員名簿中の所属会派・構成、常任委員会、特別委員会等は左記のとおり。

所属会派・構成

自民 自由民主党杉並区議団（一五）

公明 杉並区議会公明党（八）

民主 民主党・区民連合（八）

共産 日本共産党杉並区議団（七）

杉フ 杉並フロンティア（四）

生ネ 杉並・生活者ネットワーク区議団（三）

革新 都政を革新する会（二）

杉フ 杉並市民プロジェクト（二）

無 無所属（一人）

維新 平成維新（一人）

社民 社会民主党（一人）

私社 私たちの杉並をつくる会（一人）

総財 総務財政委員会

区民 区民生活委員会

福祉 福祉保健委員会

建設 建設委員会

文教 文教委員会

特別委員会

分権 地方自治・分権等調査特別委員会

道交 道路交通対策特別委員会

住宅 住宅・土地問題対策特別委員会

災害 災害・環境問題対策特別委員会

清掃 清掃・リサイクル対策特別委員会

一般質問

商店街の衰退に歯止めをかける 区の早急な支援施策を望む

問 区は、地域の核としてがんばってきた商店街をまちづくりの視点からどのように位置付け、また、自助努力だけでは限界にきた商店街の衰退をどう考えているのか。

答 コミュニティの活力源等として、まちづくりに重要な役割を果たしており、衰退は地域の方の日常生活にも大きな影響を及ぼすと考えている。商店街の実務を担う商店や区境で競合する商店の多くの声が届いていると思う。調査会議の結果にかかわらずレジ袋税の慎重な対応を強く望む。

答 商店街の心配はよく理解している。事業者が消費者に転嫁すべき税を自分で負担したり、区境の商店が不利な立場を受けることをどう補うかが課題。調査会議で十分に議論し、結果を踏まえ判断する。

問 荻窪駅北口東地区再開発の今後の見通しを、荻窪駅前

答 河川敷などの路上生活者は何人か確認しているのか。

答 調査は外観観察によるため判断が難しい。概数で8月には区内で約六〇名だつた。確認した場合は、区は普段どの様な対応をしているのか。

答 パトロール等で近隣住民や施設利用者に支援をきたさないうような適切な利用を訴え、自発的な退去を求めている。

問 近隣住民より対応依頼があつた場合のみ対応しているのか。区の積極的対応と対策は、所管警察とはどのような連携をとっているのか。

学校給食の民間委託は中止せよ

問 介護保険が始まって、日本共産党の調査でも全国で利用料が高く満度に使えず悲惨な事態が起きていることが分かつた。区の調査でも六割以上の利用が54・6%で満度に利用しない理由に、自己負担が大変、五人に一人となつている。また、10月から65歳以上の方の保険料の徴収が開始された。保険料が支払えないう高齢福祉年金受給者は制度からはじき出され、医療も受けられなくなる。このような方々を出してはならない。現実には区長の「介護保険では必要な人が必要なサービスを受けられなければならない。特養ホームにも必要な人が入れる」旨発言と相違している。調査を施策に反映させるため利用料・保険料の減免を求め、答 介護保険制度は、法令により全国で一律の基準で実施

積極的な自立支援策で路上生活者の解消に期待する

問 道路等公共の場で生活する路上生活者に就労による自立支援をする路上生活者支援センターは、今年度、台東区新宿東の二施設が開設される。杉並区からの新宿東への宿泊支援は何か。その人選、費用はどの程度。来年度以降の23区での施設計画、総人数は。

答 杉並区からは四名になる

問 介護保険が始まって、日本共産党の調査でも全国で利用料が高く満度に使えず悲惨な事態が起きていることが分かつた。区の調査でも六割以上の利用が54・6%で満度に利用しない理由に、自己負担が大変、五人に一人となつている。また、10月から65歳以上の方の保険料の徴収が開始された。保険料が支払えないう高齢福祉年金受給者は制度からはじき出され、医療も受けられなくなる。このような方々を出してはならない。現実には区長の「介護保険では必要な人が必要なサービスを受けられなければならない。特養ホームにも必要な人が入れる」旨発言と相違している。調査を施策に反映させるため利用料・保険料の減免を求め、答 介護保険制度は、法令により全国で一律の基準で実施

区民が求める区政実現のため長期・実施計画の確実な実施を

問 区長は、21世紀ビジョンを具体化する基本計画を実施計画の策定にどのような気持で挑んだのか。

答 今までの手法にとられず、高い志を持ち、長期的な視野に立つ重点目標を定め、区政に、区民の知恵や力が発揮されるよう計画を策定した。

問 就任以来積極的成果をどのように考え、また、これからの方針をどう進めるのか。

答 思い切った施策の再構築、コストや成果を重視したり等運営への転換を見ることができた。今後は、スマートすぎな計画の目標の達成に向け、強固で弾力性のある行政財政基盤の確立に全力を尽くす。

問 杉並中継所に関する環境点検調査結果が報告され、区は現時点での事実上の安全宣言をしたが、今後何をもうて安全性を確認していくのか。

答 今後、排気塔等の施設改善を行い、安全性を高めることと、環境モニタリング調査を継続的に実施する。

問 杉並区一般廃棄物処理基本計画では事業者の役割として、販売業者は容器等の資源物を主体的に回収する等と明記されている。区はこの半年間でどのように取り組んだか。

答 薬品類等の店頭回収、殺虫剤等の処理を要請してきた協力の回答を得た販売業者もある。今後具体化に向け、更に協議していく。

学校給食民間委託については説明責任を果たせ

問 杉並の学校給食は、高く評価され、保護者も子どもも大変満足している。しかし、この学校給食が民間委託されようとしており、様々な不安や疑問が生まれている。「民間委託に反対」などはない。これから学校給食が見えてこないから不安という区民の疑問に、区は説明責任を果たすべきである。区ではいつから民間委託を検討してきたのか。

答 各区の動向を踏まえた調査、検討を経て、昨年10月策定の行政改革大綱に基づき、実施に向け検討を始めた。

問 検討会は終了したと聞いていますが、今後の実施までのスケジュールがどのようになるのか。

答 13年度実施に向けPTAの代表など、学校関係者も入った具体化の検討会を設置することと、委託校の決定や業者選定を行う予定だ。

中継所の安全宣言は時期尚早 複合汚染の影響分析をすべき

問 中継所搬入こみの組成調査の結果を清掃事業にどう生かすのか。調査の継続的蓄積に基づき、特定家庭廃棄物回収事業を改めて実施するよう求めるがどうか。

答 先の調査で搬入こみの組成が明らかになっており、今はプラスチック対策など様々な施策に生かしていく。

問 10月に公表した「環境点検調査結果報告書」では、中継所換気塔からのダイオキシン類等の濃度が比較地点や排気塔に比べ、二倍と高い。この調査を根拠に中継所の安全性は保障できない。区長の安全宣言と受け取れる発言は改めるべきではないか。



日産荻窪工場跡地の土壌浄化処理施設を視察

現行の保育都基準を国の基準に後退させるな

問 日産荻窪工場跡地の有害物質汚染の状況は、土壌でトリクロロエチレンが環境基準の一六三三倍、水銀は都処理基準参考値の一九倍等である。この汚染状況を隠してきた日産に対し、区は強く抗議すべきだがどうか。住民の不安は続いている。日本共産党は、住民自身が監視し納得できるシステムの確立が重要だと考えるがどうか。

答 汚染が判明した時点で区へ報告すべきだったと考え、区は日産に対して大変遺憾である旨厳重に申し入れた。また、工事現場の見学等を通じて、区民が安心・納得ができるよう日産に働きかける。

問 保育事業における国からの恐るべき通達、定員緩和・子どもの詰め込み、待機児の解消、保育所設置認可に営利企業の参入を認め、財産保持と運営について甘い

利用者、現場の声を反映し使いやすい介護保険をめざせ

問 先の区が行った介護保険の調査の結果を踏まえ、今後利用者のサービスニーズを見極めるためのいいない調査を望むがどうか。

答 12月初旬に、自立判定の方も含めた介護者全員を対象に、介護保険相談員（民生委員）が調査を行った。また、インタビュー方式を取り入れ、掘り下げた実態把握に努める。

問 介護保険の利用者がサービスを選択しやすいよう、事業者の規模やサービス内容、運営形態等を紹介するものをNPOの協力も得て、作成することを提案するがどうか。

答 デイサービス・デイケアの簡易なパンフレットは作成した。NPO等の協力も得、効果的な情報提供を研究する。

問 利用者と同じようにより従来の家政婦と同じように働いている面もある。利用者からの苦情だけでなく、ヘルパー等の心のケアや苦情の相談

子どもの人権オンブズマン制度と実感調査の実施を望む

問 子どもの人権を確立していくための資料として、子どもの実感を最大限把握して、子どもが有効に、状況調査だけでなく実感調査を行うことを提案したがどうか。

答 次に実施する調査で、子どもへの思い「気持ち」等が反映できる調査項目についても検討する。

問 子どもの人権を守るために、第三者性、専門性、独立性を持ち、関係者間を調整し問題を専門的に調査し、さらに救済も図り、併せて権利意識の醸成をめざす。子どもの

日産工場跡地の汚染 周辺調査が中途半端だ！

問 レジ袋税によって増収を確保するならば、減税補てん償（赤字区債）を発行し続けるべきではないか。

答 レジ袋税は、税収不足を補う増収手段としては位置付けていない。減税補てん償の発行については、区財政の厳しい状況を踏まえつつ発行額を圧縮する。

問 分別収集が徹底されてもいらないに、先に課税を優先させるのは矛盾しているという声がある。分別に当たって必要な経費を先に試算し、その分のレジ袋税で賄うなど、導入の正当性を税額の根拠をしっかりとらせるべきだ。

答 レジ袋税は区民のごみ減量に対する意識と行動の変化を促すことが目的。経費を算根拠として設定するのは、なく、税が確実に消費者に転換され、消費者に抑制効果が働く分岐点で税額を設定するべきと考えている。

介護保険料・利用料の減免を家族介護の負担をなくせ

問 非課税世帯への介護保険料減免について、都政を革新する会の調査によれば、他の自治体では独自の施策で努力している。低所得者、生活保護水準以下の所得に、保険料の減免を検討すべきでは。

答 介護保険の保険料は支払能力を考えた負担割合となつている。区独自の減免策は、現段階で考えていない。

問 利用料負担から家族介護に利用料の減免を求めるが、これに生かす機会あるのか。

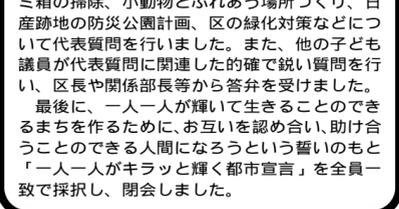
答 課税として、区長会を通じて引続き国に要望する。利用料負担の実態はサービス利用状況調査の中で把握していく。

子ども区議会を開催

12月11日、区議会議場において、第8回子ども区議会が開催され、私立を含む区内小学校の代表である6年生48名が出席しました。



河野議長の開会宣言、山田区長のあいさつ後、6人の代表が、こみの夜間収集計画やカラス対策、高齢者や車いすの方たちが安心して歩ける道路作り計画、学校のバリアフリー化の実現、車いす対応バスの増設への取り組み、公園のゴミ箱の掃除、小動物とふれあう場所づくり、日産跡地の防災公園計画、区の緑化対策などについて代表質問を行いました。また、他の子ども議員が代表質問に関連した的確で鋭い質問を行い、区長や関係部長等から答弁を受けました。最後に、一人一人が輝いて生きることでできるまちを作りたい、お互いを認め合い助け合うことのできる人間になろうという誓いのもと「一人一人がキラッと輝く都市宣言」を全員一致で採択し、開会しました。



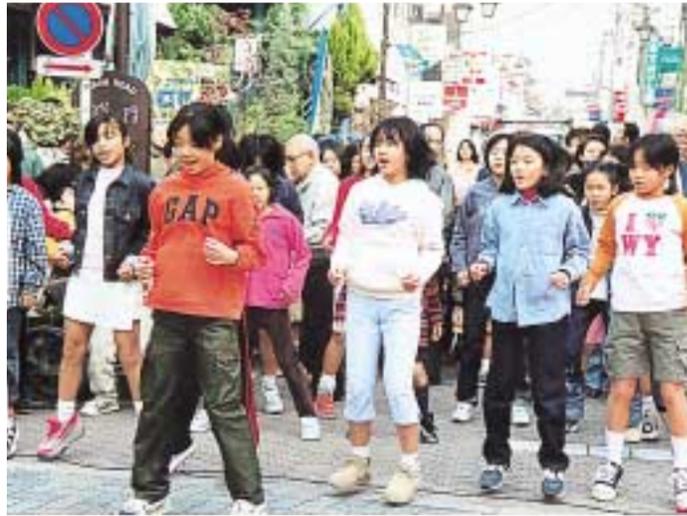
組織で見直すべきだがどうか。保護者の不安には十分な説明を行っていくが、検討の見直しは行わない。

組織で見直すべきだがどうか。保護



審議した議案

第4回定例会では、次の議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。



「青春のかけら」を歌い、踊る（南北交通バス開通式にて）

条例改正

職員の退職手当に関する条例の一部改正

中央省庁等の国の行政機関が再編成されることに伴い、

意見のわかれた議案	賛成	反対	結果
平成12年度一般会計補正予算(第3号)			可
平成12年度用地会計補正予算(第1号)			可
平成11年度一般会計歳入歳出決算の認定			可
平成11年度国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定			可
平成11年度老人保健医療会計歳入歳出決算の認定			可
外国人行政に関する意見書			可
デポジット制度の早期法制化を求める意見書			可
教育委員会委員の任命の同意(宮坂公夫氏)			可
教育委員会委員の任命の同意(大藏雄之助氏)			可

《会派名・構成》自民/自由民主党杉並区議団(15人) 公明/杉並区議会公明党(8人) 民主/民主党・区民連合(8人) 共産/日本共産党杉並区議団(7人) 杉フ/杉並フロンティア(4人) 生ネ/杉並・生活者ネットワーク区議団(3人) 革新/都政を革新する会(2人) 杉フ/杉並市民プロジェクト(1人) 無/無所属(1人) 維新/平成維新(1人) 社民/社会民主党(1人) 私杉/私たちの杉並をつくる会(1人)

平成11年度各会計別歳入歳出決算額

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	141,115,260,910円	136,505,397,637円	4,609,863,273円
国民健康保険事業会計	31,426,745,455円	30,575,004,000円	851,741,455円
老人保健医療会計	43,020,850,347円	42,603,923,258円	416,927,089円
用地会計	812,792,482円	812,792,482円	0円

未臨界核実験の強行に抗議する要請書を提出

杉並区議会は、ロシア連邦が10月20日と27日に、アメリカ合衆国が12月15日に、総務大臣とする等の改正(13年1月6日から施行) 青少年問題協議会設置法の一部改正

青少年問題協議会及び地方青少年問題協議会設置法が一部改正されたことに伴い、協議会の設置の根拠規定で引用している法律の名称を、「地方青少年問題協議会法」に改めるほか規定の整備を図る。(13年1月6日から施行) 区立高齢者住宅サービスセンター条例の一部改正

松溪中学校の余裕教室を利用した「松溪ふれあいの家」(荻窪2-3-1)を新たに設置することに伴い、設置の

法律の一部改正等に伴う規定の整備を図る。(13年4月1日から施行) 職員給与に関する条例の一部改正

住居手当と扶養手当の一部を引き上げるとともに、期末手当の支給月数を〇・二月分引き下げる。(12年4月1日から適用) 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部改正

最寄り駅からの距離を考慮に入れた、より利用しやすい使用料を設定するために、西荻窪東自転車駐車場外三力所の使用料を引き下げる。(13年4月1日から施行) 廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正

契約

区立泉南中学校改築工事(場所「堀ノ内1-3-1」工期15年2月14日まで) 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上三階地下一階建、一階は、普通教室のほか備蓄倉庫、開放会議室等、二階に

予算

12年度一般会計補正予算(第三号) (仮称)杉並南中央公園の用地取得等緊急を要する九事業の経費三億七三〇万七〇〇〇円の追加。補正後の予算総額一四二億七六二八万七〇〇〇円。 12年度用地会計補正予算(第一号) (仮称)杉並南中央公園用

地の先行取得に係る経費一三億九六〇〇万円の追加。補正後の予算総額一四二億七五五万九〇〇〇円。 特別区道の路線の認定 次の道路を特別区道として新たに認定。 上井草3 38、延長七〇・七四m、面積二八六・九三m² 和泉3 33、延長一一・六三m、面積五〇六・五八m² 和泉3 14、33、延長一一・四・五八m、面積六七三・〇〇m²

人事

教育委員会委員の任命の同意 二名の委員の任期満了に伴い、次の方々を委員として任命することに同意。 宮坂公夫氏 (みやさかきみお) 大藏雄之助氏 (おおくらゆうのすけ) (おおくらゆうのすけ) てまいります。

編集後記

あけましておめでとございませう。今年も区民の皆様と区議会のパイプ役として分かりやすい紙面づくりを心がけてまいります。

請願・陳情のあらまし

区議会では、区政に対する皆さんの意見や要望を請願・陳情として受け付けています。区議会議員の紹介のあるものを請願、ないものを陳情といいますが、受付後の取り扱いに差はありません。

請願・陳情の審査

請願・陳情は、関係する委員会で慎重に審査されます。その結果、取り上げるべきものは採択、そうでないものは不採択とします。その場で結論が出ないときは、継続とする場合もあります。

採択したもので執行機関に送ることが適当と認められたものは、すみやかに送付し、国や都に関するものは、意見書・要望書として提出する等、その要望の実現を図ります。

採択となった請願・陳情について、執行機関は実行の義務はありませんが、議会の意思として十分に尊重されています。審査の結果は、提出された方にお知らせするほか、区議会だよりにも掲載しています。

請願・陳情の書き方と提出方法

決まった書式はありませんが、次の事項の記載をお願いします。

1. 請願(陳情)の表題・要旨・理由
2. 提出年月日
3. 請願(陳情)者の住所・氏名(署名または記名押印)・電話番号
4. 請願の場合は、紹介議員の署名(または記名押印)
5. あて先:杉並区議会議長

請願・陳情は、いつでも提出することができます。区役所中棟三階の区議会事務局へ提出してください。

議会日誌

- 10月24日 災害・環境問題対策特別委員会/26日 議会運営委員会
- 11月1日 建設委員会(東京都道路整備事業推進大会参加)/2日 本会議/6日 本会議/7日 本会議/8日 本会議、決算特別委員会(正副委員長互選)/9日 区民生活委員会、建設委員会/10日 福祉保健委員会、文教委員会/13日 総務財政委員会/14日 地方自治・分権等調査特別委員会、道路交通対策特別委員会、清掃・リサイクル対策特別委員会/15日 住宅・土地問題対策特別委員会、災害・環境問題対策特別委員会/16日 決算特別委員会/17日 決算特別委員会/20日 決算特別委員会/21日 決算特別委員会/22日 決算特別委員会/24日 決算特別委員会/27日 決算特別委員会/28日 議会運営委員会、決算特別委員会/29日 決算特別委員会(各会派の意見発表)、本会議、総務財政委員会、文教委員会/30日 議会運営委員会、本会議
- 12月4日 清掃・リサイクル対策特別委員会(川崎製鉄株式会社千葉リサイクルセンター視察)/12日 区民生活委員会(株式会社まちづくりに三鷹視察)、総務財政委員会、福祉保健委員会(社会福祉法人 浴風の老人福祉施設視察)/13日 住宅・土地問題対策特別委員会/14日 建設委員会/18日 文教委員会/20日 地方自治・分権等調査特別委員会(保谷市視察)